

「ことばから世界へ～星野文学から考える集団性」

ゲスト講師：星野智幸さん（小説家）

日時：10月1日（土）14：00～19：00（途中休憩時間あり）

会場：大阪大学豊中キャンパス

大学教育実践センター 開放型セミナー室（スチューデントcommons）

※教育研究棟1階のスペースです。一面がガラス張りになっており、外から内部の様子が見えるようになっています。場所については、下の地図を参照してください。

参加は無料です。ただし、事前に申し込みが必要です。（定員 30 名程度）

crossing-popularculture@let.osaka-u.ac.jp（古川）まで、メールでお申込みください。



“なりゆきでオレオレ詐欺をしてしまった俺は、気付いたら別の俺になっていた。上司も俺だし母親も俺、俺ではない俺、俺たち俺俺。俺でありすぎてもう何が何だかわからない。電源オフだ、オフ。壊れちまう。増殖していく俺に耐えきれず右往左往する俺同士はやがて——。現代社会で個人が生きる意味を突きつける衝撃的問題作！”（新潮社サイトより）

第5回大江健三郎賞を受賞した話題作『俺俺』を、私はどう読むか——。作者の星野智幸さんをお迎えして、様々な領域／立場の研究者がそれぞれの「読み」を紹介、議論します。

事前申し込みは必要ですが、『俺俺』をお読みになった方なら、どなたでもご参加いただけます。

第一部／司会：シン・ジョンミョン（現代文学研究／大阪大学大学院文学研究科）

パネリスト：辻大介（コミュニケーション社会学／大阪大学人間科学研究科准教授）、渡邊太（社会学・社会運動／commons大学）、黛友明（民俗学／大阪大学大学院文学研究科）

第二部／司会：富山一郎（大阪大学文学研究科教授）

コメント：東園子（大阪大学人間科学研究科助教）、久保田裕之（大阪大学人間科学研究科助教）、古川岳志（GCOE特任助教）

ゲスト講師紹介：星野智幸（小説家）

1965年ロサンゼルス生まれ。早稲田大学第一文学部を卒業後、新聞記者をへて、メキシコに留学。1997年「最後の吐息」で文藝賞を受賞。2000年「目覚めよと人魚は歌う」で三島由紀夫賞、2003年『ファンタジスタ』で野間文芸新人賞、2011年『俺俺』で大江健三郎賞を受賞。著書に『ロンリー・ハーツ・キラー』『アルカロイド・ラヴァーズ』『われら猫の子』『植物診断室』『無間道』『水族』など。

企画：大阪大学GCOE『コンフリクトの人文国際研究教育拠点』

「横断するポピュラーカルチャー」研究プロジェクト <http://yokopo-osakauniv.blogspot.com/>

お問い合わせ：crossing-popularculture@let.osaka-u.ac.jp（古川）

